

## 平成24年度第2回 たつの市行財政改革推進委員会 会議要録

開催日時：平成24年7月26日（木）午前10時00分～

開催場所：市役所3階 第3委員会室

出席者：委員11名、行政改革推進室長、事務局

### 1 会議内容

議 事 まちづくり改革プラン実施計画の見直しについて

### 2 議事内容

まちづくり改革プラン実施計画の見直しについて

資料1・資料3 まちづくり改革プラン実施計画（H25～H28）具体的取組項目一覧（継続・修正・取組終了）（案）について説明

（委員） 「(34) 水道事業の健全経営」の取組内容に、龍野・新宮地域の料金を統一するとある。水道事業所で尋ねると、配管をつなげて統一するという回答であった。料金は高い方に統一されると思うがそれでいいのか。

（事務局） 新宮地域を龍野地域の料金体系に合わせるものである。結果、一般家庭については料金が低くなり、逆に企業などの大口は高くなる予定である。

（委員） 旧3町と旧龍野の料金はどう違うのか。

（事務局） 御津と揖保川地域が給水を受けているのは西播磨企業団からで、料金統一は難しい。旧新宮町と旧龍野市はそれぞれに水道事業所があり、合併後料金統一化を目指している。

（委員） 料金単価を出しておいてもらわないと、抽象的な表現では分からない。

（事務局） 料金単価がどうなるかは検討中である。

（委員） 統一すること自体に無理がある。龍野地域では、（浄水処理に）石灰を入れている。それをまず改善すべきである。石灰を使用する以外の方法もあるので、安全性を重視すべきである。

（委員） 石灰自体には毒性は無いはずである。

（委員） 島田に新しい浄水場を建てて、石灰の問題は改善されたと思っているが、まだ残っているのか。

（事務局） 一部残っている。

（委員） 水道管の方に石綿が使われていたのは改善されているのか。

（事務局） されている。

（委員） 水質の悪い水が新宮の方へ行くのが、改革になるのか疑問である。

（委員） ペットボトルに「たつの水」と入れてもいいぐらいよい水になっていると思う。

（委員） 3、40年前まではそうであったが、今は違う。

（委員） 「(33) 病院事業の健全経営」について、市職員も人間ドックを受けていると思うが、何故、他の病院で受けているのか。市職員が受ければかなり（経営の）助けになると思うので、市の内部で検討してもらえたらと思う。

（事務局） 分かりました。

（委員） 「(14) 不法投棄対策の推進」に関して、道端に不法投棄とは言わないが廃材が置かれている。一時置き場ということであるが、放置していると取り返しのつかないことになるおそれがある。

- (委員) 個人が持っている土地であれば、法的には置けることになっている。もし、その場所から悪臭や害虫が発生している等の問題があれば、行政が出ていくことができる。
- (委員) 悪臭などは発生していない。他にも揖保川の河川敷を巡回していると、ゴミが目立つ場所があり環境が良いとは思えない。
- (事務局) まちづくりの集いでもいろいろなところに出てきている問題であるが、結局、個人のモラルを高めるところに行きつく。お互いが、意欲を高めるため啓発し合うことである。
- (委員) 不法投棄をみつけたら警察へ届けることになっている。
- (委員) 警察から国土交通省のルートはできているが、弁当の空き容器など、なかなか小さなゴミは無くならない状態である。
- (委員) 「(19) 納税の利便性の向上」に関して、24年度からのコンビニ収納の導入はようやくという感じであるが、コンビニ収納は自分で出向かなければならない。口座振替の向上については、具体的にどのように推奨しているのか。
- (事務局) 税、国保、介護など各課で窓口に来られた時にまず1回目の勧誘を行っている。また、納税に来られたときに、便利な方法として口座振替を紹介している。
- (委員) 市役所へ納税に行くと、担当課ではなく市金庫（三井住友銀行）の窓口で支払うことになるので、そこで言ってもらわないと分からない。
- (事務局) 市金庫でも相談があったときは勧めていると聞いている。意見は原課に投げかけたい。

## 資料2 まちづくり改革プラン実施計画(H25～H28) 具体的取組項目一覧(新規)(案)

- (委員) 「(106) 太陽光発電の導入促進」に関して、自然環境保護として市が取り組むのであれば、太陽光発電以外のエネルギーも必要である。限定では導入は進んでいかない。いろいろな業者がいるので、補助金を出すなどしていかないと促進はできない。
- (事務局) 太陽光発電については旬を過ぎた感はある。担当課と話をさせて頂きたい。また、今回の資料については、係長、課長補佐などで構成するワーキングで詰めた内容で、今後プラスアルファがでてくる可能性があるということをご了承願いたい。未定稿の資料であるため取扱いに留意頂きたい。
- (委員) 「(105) 放棄田の解消」より、シカ・イノシシ対策をして、まず耕作できる環境づくりが必要ではないか。
- (事務局) これも頭を悩ませる問題である。フェンス設置への補助金や銃や罠での狩猟など取組を行っている。
- (委員) 県の目標頭数が増えたと思うが、効果はあったか。
- (事務局) 一部はあったが、出没エリアを変えただけという指摘もある。
- (委員) 市も前向きに取り組んでいるが、猟師も不足している。年間通して被害のあるところは、対策を考えなければならない。
- (事務局) 今の問題は、総合計画にうたい込んでいるのでお含みいただきたい。
- (委員) 「(109) 危機管理意識の個人浸透」について、東日本大震災によって、自分の身は自分で守るという意識が高揚していると思うので、地域にあった防災訓練をやってもらえるよう担当課に言って欲しい。個人がどういう不安をもっているかということを含めて汲み上げていただきたい。